

# R・S コンストラクト(株) 環 境 行 動 計 画

平成28年2月9日

## 取 組 方 針

R・S コンストラクト(株)は、主に一般土木工事を行っていますが、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギーと地球温暖化防止に努める
- ② 事務所内における廃棄物の削減
- ③ 冷暖房の適正温度の厳守(冷房28℃、暖房20℃程度)
- ④ 5S (整理・整頓・清掃・清潔・躰) の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成28年2月9日

R・S コンストラクト株式会社

代表取締役 酒谷 広美

### 3 環境負荷の低減目標

29年12月迄の環境負荷低減目標は次のとおりです。(低減目標の基準値は、平成27年度実績を基準値としました。)

【目標1】 二酸化炭素の総排出量を1%削減する

基準年の総排出量 11356.24 (kg-CO <sub>2</sub> )	⇒	目標年の総排出量 11242.67 (kg-CO <sub>2</sub> )
--	---	--

【目標2】 産業廃棄物の排出量を1%削減する

基準年の排出量 152.01 (t)	⇒	目標年の排出量 150.49 (t)
-----------------------	---	-----------------------

【目標3】 水使用量を1%削減する

基準年の使用量 18.00 (m <sup>3</sup> )	⇒	目標年の使用量 17.82 (m <sup>3</sup> )
------------------------------------	---	------------------------------------

### 4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

(工事・営業・事務・部門での活動)

- ・ 事務室・工事事務所の空調温度を適正(冷房時28度、暖房時20度)に設定する
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ 空調・照明の使用時間等を記録する
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 車両ごとの燃費を記録する
- ・ 車で移動する場合には、乗り合わせを徹底する。
- ・ 車両の点検・整備と燃費の確認を定期的に行う。
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する。
- ・ 使用していない機械の電源を切る。

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

(産業廃棄物)

- ・ 廃棄物管理票(マニフェスト)の管理を徹底する
- ・ ウェス、軍手は使用限度を定め、無駄に廃棄しない

(一般廃棄物)

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・ 排出する廃棄物の重さを計り、記録する

【取組3】 水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的に点検する
- ・ 洗車用のホースに手元コックを取り付ける

## 5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。